

「産業、なりわい」を守る砂防事業(熊本県山江村)

復興とGIやまえ栗を核とした持続可能な村づくりを支える砂防事業

令和2年7月豪雨(屋形地区)



令和2年7月豪雨(淡島地区)



砂防事業の効果

令和4年度より熊本県が実施している砂防事業により、万江川流域内の人家400戸以上、国道(緊急輸送道路)、県道、鉄道(JR肥薩線)、集会所等が保全される。

また、流域内には、村の観光・経済を支える特産品で、村の農家の8割が栽培しているという「やまえ栗※」の生産地が点在しており、対策実施によりなりわいが守られ、山江ならではの持続可能な村づくりに寄与することが期待される。

※山江村の『やまえ栗条例』では、栗を村の「宝」と位置づけ、栗を中心とした持続可能な村づくりが進められている。令和6年「やまえ栗」は農林水産省所管法に基づく地理的表示(GI)保護制度に登録済。

全体事業費:約60.1億円
事業内容:砂防堰堤7基等
事業期間:令和4~13年度
R7補正:0.7億円(事業費)
実施内容:付替県道工事(屋形地区)

計画砂防堰堤
(一部整備中)

屋形地区

淡島地区

山江村物産館
栗加工所

県道17号坂本人吉線

氾濫想定区域

万江川

- : やまえ栗(畑)
- : 栗加工場・販売所



JR肥薩線 万江川橋梁



山江村の栗畑

